

北薩感染症情報

2026年第16週(4月13日~4月19日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報レベル ○: 注意報レベル

定点種別	対象疾患	警報レベル			川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	注意報レベル基準値	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点あたり報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点あたり報告数	前週からの増減	警報注意報
急性呼吸器感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	-	-	-	153	153	51.00	→	-	45	49	24.50	↗	-
	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	3	-	-	↓	-	6	5	2.50	↓	-
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	-	-	-	1	-	-	↓	-	-	-	-	→	-
小児科定点	RS	-	-	-	2	-	-	↓	-	1	1	1.00	→	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	-	1	0.50	↗	-	-	1	1.00	↗	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	-	4	2.00	↗	-	5	4	4.00	↓	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	8	7	3.50	↓	-	-	-	-	→	-
	水痘	2.0	1.0	1.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	手足口病	5.0	2.0	-	2	6	3.00	↗	-	-	-	-	→	-
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	2	1	0.50	↓	-	-	1	1.00	↗	-
	突発性発疹	-	-	-	1	1	0.50	→	-	-	-	-	→	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	-	4	4.00	↗	-	/	/	/	/	/
基幹定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
指定医療機関からのインフルエンザ入院報告		-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
指定医療機関からのCOVID-19入院報告		-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
報告数合計		-	-	-	172	177	/	↗	/	57	61	/	↗	/

<注意報・警報レベル>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 結核1例、レジオネラ症1例 追加 梅毒1例(第15週)
- ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

疾病別各保健所定点当たり報告 直近10w分(男女合計)

 警報レベル 注意報レベル

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点あたり報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				7W	8W	9W	10W	11W	12W	13W	14W	15W	16W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	88.67	110.00	73.00	64.33	47.00	55.33	50.67	51.00	51.00	51.00
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	124.67	72.67	36.33	16.00	9.33	2.67	1.67	0.67	1.00	—
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	—	—	—	—	—	—	0.33	0.33	0.33	—
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	2.00	2.00	1.00	0.50	—	1.00	—	—	1.00	—
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	1.00	0.50	—	1.00	1.00	—	—	—	0.50
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	2.50	1.50	2.00	3.00	2.00	2.00	2.00	1.50	—	2.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	9.50	6.00	7.50	5.50	7.00	9.50	7.50	3.50	4.00	3.50
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	0.50	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	1.00	3.00
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	0.50	—	1.50	1.00	2.50	0.50	2.50	2.00	1.00	0.50
	突発性発疹	—	—	—	—	1.00	—	0.50	0.50	1.00	—	0.50	0.50
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	4.00	3.00	2.00	1.00	1.00	3.00	1.00	—	—	4.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点あたり報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				7W	8W	9W	10W	11W	12W	13W	14W	15W	16W
急性呼吸器 感染症(ARI) 定点	急性呼吸器感染症	—	—	61.50	52.00	36.00	31.00	40.50	24.50	33.00	28.00	22.50	24.50
	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	47.50	40.00	22.50	6.00	8.50	5.50	1.50	3.00	3.00	2.50
	COVID-19 (新型コロナウイルス感染症)	—	—	—	—	—	—	—	—	0.50	2.00	—	—
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	2.00	2.00	1.00	2.00	2.00	—	—	—	1.00	1.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	1.00	1.00	1.00	—	—	—	1.00	—	1.00
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	—	4.00	5.00	8.00	8.00	6.00	3.00	5.00	5.00	4.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	—	6.00	3.00	8.00	17.00	3.00	3.00	2.00	—	—
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	1.00	—	—	—	—	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	1.00	—	—	—	—	—	—
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	1.00	3.00	—	—	1.00	1.00	2.00	—	—	1.00
	突発性発疹	—	—	—	—	—	—	1.00	1.00	—	1.00	—	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第16週は川薩保健所管内で結核・レジオネラ症・梅毒の発生がありました。また、麻疹について、県内では今年に入ってから4月21日までに34例の報告となっています。

鹿児島県内で今年34例の麻疹の報告がありました！

※令和8年4月21日時点

全国では4月15日時点で299例

- ・空気感染
- ・飛沫感染
- ・接触感染

麻疹(はしか)とは...？

麻疹:麻疹ウイルスによって引き起こされる、急性の全身感染症です。麻疹ウイルスの感染経路は空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると、一生免疫が持続すると言われています。

症状:感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。

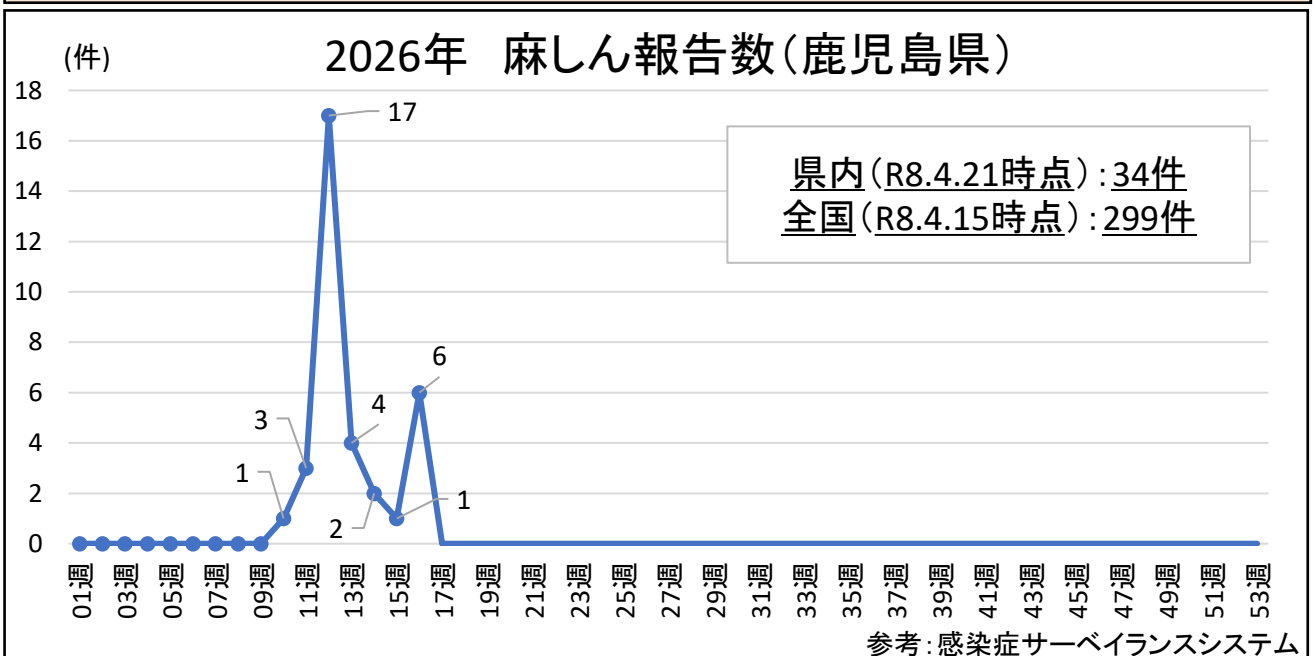
感染可能期間:周囲への感染可能期間は、発症日の1日前から解熱後3日間を経過するまでの期間で、発症前から感染力があります。

ワクチン:予防接種が最も有効な予防法であり、麻疹含有ワクチンを接種することによって、95%程度の人が麻疹ウイルスに対する免疫を獲得することができます。

麻疹については、下記URLをご覧ください。

鹿児島大学 感染症専門医養成講座(鹿児島県寄附講座)で公開されています。

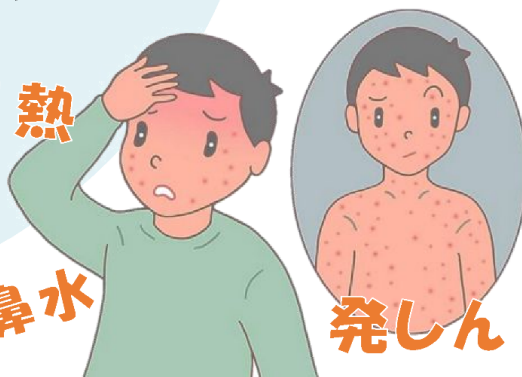
<https://www3.kufm.kagoshima-u.ac.jp/idedu/movie-public/movie-public-957/>



ま 麻疹 (はしか) に

ちゅうい
ご注意ください

高熱
せき
鼻水



症 状

感染すると約10日後に発熱やせき、鼻水といったかぜのような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

麻疹かな?と思ったら

医療機関に電話等で麻疹の疑いがあることを伝え以降は医療機関の指示に従ってください。医療機関への移動の際は公共交通機関の利用を可能な限り避けてください。

感 染 経 路

空気感染等により、簡単に人から人に感染します。麻疹の免疫が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

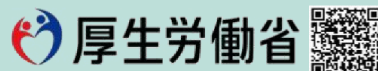
予 防 方 法

ワクチン接種が有効です。定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）、医療・教育関係者、海外渡航を計画している方は、予防接種が済んでいるかご確認ください。



海外での感染にもご注意ください

詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

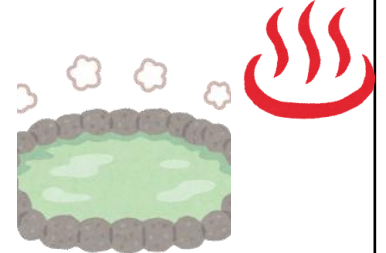


感染症対策課 2025年7月 作成

レジオネラ症について

参考: [レジオネラ症](#) | 厚生労働省

レジオネラ症は、*Legionella pneumophila*を代表とするレジオネラ属菌による細菌感染症です。
潜伏期間は2～10日間。



(感染方法)

- ①エアロゾル: 冷却塔水、加湿器や循環式浴槽
- ②吸引・誤嚥: 温泉浴槽内や河川で溺れた際に汚染された水を吸引・誤嚥することによる感染
- ③土壌からの感染

医療機関の皆様へ

管内でレジオネラ症の発生がありました。肺炎症状等を呈している患者を診察される際は、レジオネラ症を含めて診察していただき、レジオネラ症と診断した際は、直ちに管轄保健所に届出を行うよう、お願いいたします。

梅毒について

参考: [梅毒](#) | 厚生労働省

梅毒トレポネーマという病原体により引き起こされる感染症であり、性的接触により粘膜や皮膚から感染します。

男性20代～50代、女性は20代が突出して増えています。

感染しても無症状の場合もあり、治療に結びつかないだけでなく、自分の知らない間に他の人に感染させてしまうことがあります。

※先天性梅毒

妊娠中の梅毒感染は特に危険です。妊娠している人が感染すると、母親だけでなく胎盤を通じて胎児にも感染し、死産や早産、生まれてくる子どもの神経や骨などに異常をきたすことがあります。

